

2001 KSC #1

初島卯月レース 追加帆走指示書

2001年4月3日

KSC共通帆走指示書を再規定する項目のみを記述する。

主催：日本セーリング連盟（JSAF）加盟団体 外洋三崎

運営：初島卯月レース実行委員会（諸磯フリート）

2. 適用規則

- 2-1 初島卯月レース実施要項及び追加帆走指示書
- 2-2 2001KSC特別規定、KSC実施要項及び共通帆走指示書
- 2-3 海上衝突予防法
- 2-4 JSAF特別規定 2000-2001
- 2-5 セーリング競技規則2001-2004（以降RRSとする。）
- 2-6 IMS2001及びIMSレギュレーションズ（IMS2001）
- 2-7 JSAF ORCクラブ運用規定
- 2-8 JSAF 外洋レース規則 - 2000（第08条は初島卯月レース帆走指示書 付則-1 通信規定におきかえる。）

* 上記の2-1と2-2,2-4~2-8と矛盾が生じた場合は、本追加帆走指示書が優先される。

4. 公式掲示板

- 4-1 競技者に対する通告は、4月5日（木曜日）18:00以降JSAF本部事務局に設置された公式掲示板により行い、4月7日07:00よりは、レース本部公式掲示板にて行う。
- 4-2 競技者に対する通告は、本追加帆走指示書で規定されている通告方法が優先される。
- 4-3 4月6日（金曜日）00:00以降よりFAXサービスにても公開するが、FAXサービスにアクセスできなくても、救済要求は認めない。
- 4-4 レース本部においてのフラッグの掲揚、音響による通告、指示、連絡は行わない。
- 4-5 KSC共通帆走指示書 付則-3 は本文に置き換え、暫定成績の発表は、4月8日（日曜日）08:00よりレース本部公式掲示板に掲示し、また4月9日（月曜日）20:00よりFAXサービスにても行う。

7. レース旗及びクラス旗

- 7-1 レース旗 : レース艇は“**JSAFクラブ旗・レース旗**”の順に掲揚し、チェックインから自艇のレースが終了するまでレース旗の下辺がデッキより1.5m以上の高さになるように掲揚する事。
- 7-2 クラス旗 : “**クラス旗**”は用いない。

8. スタートエリア : スタートエリアは小網代沖とする。

9. コース

- 9-1 小網代沖スタート - ウェザーマーク（設置した場合） - 初島（反時計） - 小網代灯浮標（右に見る） - 小網代湾フィニッシュ
 - 9-1-1 ウェザーマークを設置する場合にはスターティングボートに“**W旗**”を掲揚し、且つ回航方法を数字旗掲揚により指示する。
 - 9-1-2 ウェザーマークの回航方法は、“**数字旗1**”は時計回り、“**数字旗2**”は反時計回りとする。
 - 9-1-3 ウェザーマーク迄のおおよその距離、コンパス方位は、スタート予告信号前までにスターティングボート上に掲示する。
- 9-2 公式距離 : 48マイル

10. マークの種類

- 10-1 スタートアウトマーク 黄色円筒ブイ
- 10-2 ウェザーマーク オレンジ色円筒ブイ
- 10-3 フィニッシュアウトマーク 黄色円筒ブイ（夜間はブイトップにストロボライトが付く）

11. スタート

11-1 スタート日時 : 2001年4月6日 10:00

11-2 チェックイン

11-2-1 参加艇は“L旗”を掲揚（09:20～09:40まで掲揚されている）しているスターティングボートまたは運営艇後方をスターボードタックで通過し、セールナンバーおよび乗員数を伝えて出走の確認を受けなければならない。

11-3 スタート方式

11-3-1 全クラス同時スタートとする。

11-3-2 RRS26 を適用する。但し、スタート信号迄の時間は以下 11-3-4 を適用する。また、予告信号は“JSAF 大バージ”とし、準備信号を RRS30.1 に基づく“I旗”とする。

11-3-3 スタートのペナルティとして、RRS30.1 を適用する。また、当規定に違反した場合には、失格に代わる罰則として所要時間に対して“10%”のタイムペナルティを課す。（RRS30.1 への追加）

11-3-4 フラッグの掲揚と時間

信号	旗	音響	スタート迄の時間(分)
予告	JSAF大バージ 掲揚	音響1声	10
準備	I旗 掲揚	音響1声	4
1分	I旗 降下	音響1声	1
スタート	JSAF大バージ 降下	音響1声	0

掲揚旗参考

	チェックイン		予告信号	準備信号	1分前	スタート
	UP	DOWN	UP	UP	DOWN	DOWN
掲揚旗						
掲揚されている状態	 		 	  	 	

11-4 事前にレイトスタートの手続きをとってない艇は、スタート信号後“20分”を超えてからスタートラインを横切ってもスタートとは認めない。

12. スタートライン

- 12-1 “JSAF大エンサイン”掲揚したスタートラインボート(Daphne-V)のマストとアウトマークを結んだ見通し線とする。

14. リコール

- 14-1 リコール艇名もしくは“**I旗**”対象艇名をVHF71chで放送する場合もある。(RRS29.2への追加)
14-2 放送に関する救済要求は受け付けない。

15. 運営艇

- 15-1 スタートラインボート(Daphne-V) : JSAF大エンサイン を掲揚する。
15-2 フィニッシングボート(Daphne-V) : JSAF大エンサイン と ブルー旗 を掲揚する。
15-3 その他の運営艇 : JSAF大バージを掲揚する。

16. 公式日の出、日没時刻と公式時間

- 16-1 日の出時刻は“**05:21 (方位82)**”、日没時刻は“**18:07 (方位279)**”とする。
16-2 日没から日の出までの間は海上衝突予防法を適用し、RRS第2章は適用しない。
16-3 時間は日本標準時間(JST)を用いる。

17. フィニッシュライン

- 17-1 “JSAF 大エンサイン”掲揚したフィニッシングボート(Daphne-V)のマストとアウトマークを結んだ見通し線とする。
17-2 日没後は、フィニッシングボートのマストに“**錨泊灯**”と“**赤色灯縦2つ**”を点灯し、アウトマークには“**ストロボライト**”が点滅する。
17-3 日没後のフィニッシュは、フィニッシュの“**5分前**”までにA符号(・)を発光信号で連送し予告すること。
17-4 フィニッシュ時は自艇のメインセールをライトで照射し、フィニッシングボートが確認しやすいようにすること。
17-5 ケブラーセール・ブラックセール艇は光が反射セールナンバーを確認できない場合があるので、自艇のセールナンバーを発声にてフィニッシングボートに申告すること。

19. タイムリミット

- 19-1 4月7日(土曜日)24:00
19-2 タイムリミットまでにフィニッシュできなかった艇はDNFとなる。(RRS35の変更)

20. 航跡図への記入

- 20-1 初島灯台を“**MAG. 0°**”に確認した時刻、フィニッシュ時刻、自艇の航跡、その他必要事項を正確に記入しなければならない。

2 1 . 無線通信

- 21-1 定時ロールコールは行わない。
- 21-2 付則-1 の初島卯月レース通信規定に従い運用すること。
- 21-3 定められた通信を行わなかった場合は“ 20% ”のタイムペナルティーを課す。

2 4 . レースの中止

- 24-1 スタートインポートに“ N旗 ”を掲揚し“ 音響3声 ”を発する。
- 24-2 “ N旗 ”は“ 音響1声 ”とともに次の信号の1分前に降下される。
- 24-3 スタートインポートに“ N旗 ”と“ A旗 ”が掲揚され“ 音響3声 ”を発してレースを中止した場合、参加各艇は直ちに帰港するものとする。
- 24-4 その後の通告は、公式掲示板に定められた方法にて行う。

2 5 . インспекション

- 25-1 インспекターはレース委員長によって任命され、事前・レース後に規定に適合しているか否かをチェックする権限を持つ。
- 25-2 フィニッシュ直後のインспекションは“ 着順1・2・3・5・7 ”の艇に対して行うが、レース委員長の判断によりフィニッシュした全艇に対して実施される場合もある。しかし、気象、海象及び時間帯など、インспекターの安全の確保が出来ないとレース委員長が判断したときは行わない。

3 1 . レース本部

- 31-1 レ - ス本部
 - 場所 : 諸磯ヨット管理事務所 2階 “ 諸磯ヨットオーナーズクラブ ”
 - 設置期間 : 2001 年 4 月 6 日 07:00 ~ 4 月 7 日 12:00 まで
- 31-2 公式掲示板
 - 場所 : 諸磯ヨット管理事務所 2階 “ 諸磯ヨットオーナーズクラブ ”
 - 設置期間 : 2001 年 4 月 6 日 07:00 ~ 4 月 7 日 12:00 まで
- 31-3 連絡先
 - 電話番号 0 9 0 - 2 2 4 4 - 3 5 4 5
 - ファクス番号 0 4 4 - 9 4 9 - 1 0 4 0

3 3 . レース委員会・プロテスト委員会

レース委員長	青木 秀二	運営	山本 建	プロテスト委員長	山崎 理人
副レース委員長	矢尾板 憲一	運営	幸重 吉雄	プロテスト委員	関 恭一郎
安全委員	佐藤 静治	運営	宮永 敬信	プロテスト委員	石井 秀哉
通信委員	池野 康雄	運営			
成績算出	鈴木 利夫	運営		インспекター	佐藤 静治
運営	嶋崎 義昭	運営		インспекター	榛葉 克也
運営	宮島 佐和子	運営		インспекター	赤間 匡

付則-1

通信規定（国際、マリン VHF 及び携帯電話による通信方法、時間はすべて JST）

目的	時刻・時間	接続方法	通話・報告内容と通信例	その他
VHF 使用 チャンネル 71ch スタート前 の 通話確認	09:00 - 09:30	本部艇 各艇	本部から コールサイン 感度はいいですか レース艇から コールサイン 感度良好 通信終わり	VHF、携帯電話ともに接続性、通話感度、明瞭度等の確認を行う。 *呼出方法 レース委員会が各艇を順次呼びだす。 携帯電話では2度の接続不可の場合、申告された2台目の携帯電話に接続を試みる。
レース中の 非常時通報	随時	各艇 本部	コールサイン 位置（緯度・経度） 連絡内容、気象・海象 艇・乗員の状況	VHF、携帯電話ともに同運用手順とする。 視認できる艇、船舶があれば本部に連絡する。
		本部 各艇	確認、依頼	各艇に常時通信が可能となる指示する場合もある。
フィニッシュ の予告	予定1時間前	当該艇 本部	レース本部 自艇コールサイン 小網代灯浮標までxx マイル 艇速xx ノット フィニッシュ予定時刻 通信終わり	VHF71chか携帯電話にて連絡をとる。

* 事故防止、捜索協力等のために VHF、携帯電話での義務事項を以下に定める。*

- VHF：1 スタート1時間前より、フィニッシュ1時間後まで、海上保安庁他の各種警報などの入手のため CH16 を聴取常時受信可能な状態にしておくこと。
- 2 毎時05分から、CH71の聴取と相模湾海域の気象通報の聴取に極力努めること。
(マリン VHF 相模湾センター CH88 09:00 - 17:00、毎時0分から国際 VHF で聴取可能)
- 3 本部と直接通信が出来ない場合は他艇に中継依頼をし、通信の確保に努力すること。
また、依頼された艇は中継に協力すること。
- 4 CH16は呼出しチャンネルであるため通話は船間波に変波して行うこと。

携帯電話：スタート1時間前より、フィニッシュ1時間後まで常時通信可能な状態にしておくこと。

本部電話番号（変更がある場合は公式掲示板で通知する）

本部-1	090-2244-3545
本部-2	